

新年明けましておめでとうございます

子どもと教育の未来をかけ、すべての教職員の希望を担って



発行所
高松市田村町1033-3
TEL (087) 867-4797
FAX (087) 867-6446
香川県教職員組合
定価 1部50円 1月100円
【組合員の購読料は組合費に含む】

香教組ホームページ
<http://kakyoso.com/>

職場活性化、組織拡大・強化をめざすブロック交流会
日時 1月25日(日)
場所 広島県福山市
参加を希望する方は、本部にぜひご連絡ください。参加者募集中です。

全教の組織的力を飛躍的に高める年しよう



全日本教職員組合 中央執行委員長 北村 佳久

新しい年を迎え、全国各地の全教組の皆さんへ、関係各位にお

慶びを申し上げます。

今年、日本政府が子どもの権利条約を批准して21年目を迎える年です。国際条約の遵守義務を課した憲法98条2項の規定に従って、日本政府に対して、子どもの権利条約がいきる施策の履行を強く求めていきたいと思うものです。

今年、敗戦から70年目にあたる年であり、日本国憲法が施行されて68年目の年となります。戦争の放棄、軍備及び交戦権の否認を規定した憲法9条の遵守を、国民的な運動と世論で安倍政権に対してよりいっそう強く求めていきたいと決意するものです。今年3月6日、全教は結成から24年目を迎えます。全教があったからたかえた。全教があったから今、希望がある。全教があつて本当によかつた。その一つひとつの積み重ねの上に立って、今日があります。「教え子を再び戦場に送るな」の誓いのもとに、子ども・青年の明るい未来をきりひらきます。(全教綱領より)

子どもと教育の未来をかけ、すべての教職員の希望を担って、全教の組織的力を飛躍的に高めるために、全国の力を総結集して取り組む年にしようではありませんか。

全教共済とともに



全教共済専務理事 平尾 行敏

全教共済は、教職員の生活、いのちと健康、身分を守る「三つの運動」をより強化するため、三つの新制度をスタートさせます。一つは現在80歳で終わる医療共済に「終身タイプ」を導入します。900日など通算限度日数がある民間保険とちがひ、通算限度日数を設けず、生涯にわたり教職員の病気の不安を支えます。二つ目は、ケガの入院や通院保障として「新傷害共済」をつくります。勤務の合間を縫い、時間をしっかり治療に通う教職員のために、完治を待たずスピーディーな給付ができるようにします。三つ目は、業務上の損害賠償請求にそなえる現行の「教職員賠償責任共済」に加え、日常生活上の損害賠償請求に対応する「くらしの賠償責任共済」をはじめます。詳しくは、職場でお配りする「春募集パンフ」をご覧ください。

超多忙で集まることすら困難な教職員に「みんなが集まり、元気を出そうよ!」と、組合・共済会が主催する多彩な行事を全教共済は「集いあい促進費」で支援しています。教職員組合の全国組織である全教共済もつて運営する全教共済だからこそその優位性を香川の職場で大いに広げましょう。

香教組こそが、誰に対しても物言える組織



香川県教職員組合 中央執行委員長 大野 孝之

私、今とつても授業がおもしろいんです。私、これまで静かに授業をしてきました。静かにさせることで「荒れ」を抑えこんできました。でも、昨年から変えました。授業中の大半の時間を、理科の実験中のように自由に生徒が動きまわる授業をしています。一見、授業崩壊に見えます。私は生徒に「全員ができる」ことだけを要求し、生徒はその目標達成のために協力してがんばっています。感動的場面にもしばしば出会います。実におもしろい。みなさん。学校はやっぱりおもしろいところですよ。すべての教職員のみなさん。組合に結集しておもしろい学校を創りませんか。楽しい夢を見ませんか。

おもしろい学校を私たちの手で

小黑板

香川教育の12月15日号にもこの問題は、書かせてもらったが、この間管理職の先生方と話をする機会があり、何人もの校長や教頭とも話をしたが、どの先生も、歯切れが悪い。香教組は中央委員会でのこの件について話し合ったが、いくつも問題点があがっている。夏休みを短縮することで、20時間ほどの時間が生まれるが、教育長は、本当にこの程度の時間で学力格差を解消できると思っているのかという点。クローラーをつけて教室以外は蒸し風呂のような校舎内を知っているのかとの声。平日に取れない年休を唯一取っていたのが夏休みなのに」という教員からの声。親からは

高松市の夏休み短縮

「お盆に仕事がある私たちは、8月後半に休んで旅行に出かけていたのに、これで計画が立たなくなつた」との声。スポーツ少年団からは「試合日程が8月後半に組まれていたため大会ができなくなる」との大反対。教育長の答弁一つで、周囲からこんな声が沢山あがっていることを把握しているのだろうか。2学期制は、始めたときにどんな検証をしてスタートしたのだろう。そして、その2学期制を止めることになったが、どんな検証結果があつて3学期制に戻したのか。教育は、一部の人のための思いつきで変更したり戻したりすべきものでない。やるからにはパフォーマンスでなく検証や結果を考えないと・・・。

女性部・青年部が専門部交渉

パワハラやセクハラは人権意識を高めるよう話したい

1月8日(月)、香教組女性部と青年部が県教育委員会と交渉を行いました。女性部は、母性保護の観点から産休や病休に入るときに代替教員の配置が遅くなると非常に迷惑をかけたという思いも強くなるため、安心して休めるよう配置を急いでもらいたいこと。青年部は、初任者が困ったときに十分に相談にのってもらえるような、初任者担当の教員の配置等について交渉しました。

学校全体で初任者の指導をお願いしたい

女性部

病休や産休の代替配置の遅れを解消し、安心して休暇、休業制度を利用できるようにしてもらいたい。

県教委

代替の方が充分確保できず配置が遅れたことは申し訳ない。採用数が増え、講師等の登録数も減っているのは確か。学校にも他県にも問い合わせをして探しているのだが、年度途中の場合少人数担当の教諭に担任をお願いし、代替講師を少人数に回す等の対策を聞いている。

女性部

管理職による教員及び児童・生徒に対しセクハラ、パワハラ等の行為がないように指導・監督すること。

県教委

パワハラやセクハラについて、どう意識してもらうかだが、事例を聞いて徹底を図りたい。市町教委を通じて指導し、人権意識を高めるよう話す必要があると思う。管理職の言動についてこれからも考えていきたい。

青年部

初任者が困ったときに初任者担当がいらないような配置の仕方や、十分に相談に乗れる人の配

置を行うこと。

現在のような初任者担当の配置の仕方では何校も掛け持ちであるため、相談したいと思ったときに相談ができず、結果、指導が後手に回ってしまい、親との人間関係が崩れ、それが負担になって初任者が休んでしまう原因にもなっている。

県教委

最近では、ほとんどの学校で初任者の配置がされている。学校全体で初任者の指導をし



要求する女性部・青年部

青年部

教職経歴(臨時教職員を含む)を選考の資料とする。一次試験合格者は翌年以降の一次試験を免除すること。採用試験受験年齢制限を撤廃すること。採用試験の年齢制限は撤廃すべきである。特に、一部の特別選考の対象が小と中で異なるというのはいくつか。最初から、受験の門戸を閉ざすべきではない。

県教委

一次免除は困難だが、毎年採用試験については、少しでも良い方法をと検討してきている。年齢についても、これまで変更を加えてきており、今後も考えていきたい。

また、非常勤の時間単価についても考えてもらいたいと交渉を行った。

香教組新春まらちがし



- ① 左の二つの絵はよく似ていますが、3カ所だけどこかが違っていています。
- ② その3カ所の場所を書いて、はがき、メール、FAXのどれかで香教組まで応募してください。(香教組への「ひとこと」もあれば是非お書きください。)
- ③ 締切日 1月31日
(当日消印有効)
- ④ 応募先
761-8057 高松市田村町1033-3
香川県教職員組合
FAX 087-867-6446
メールアドレス kakyoso@niji.or.jp

1等 3000円の図書券が当たる!

よく見てね! どこかが3カ所ちがっています。

正解者の中から、1等1名3000円の図書券、2等2名2000円の図書券、3等5名1000円の図書券をプレゼントします。(誰でも応募できます)